

証明書等は、証明書の提出を完了した下記6.(1)にて行う。

6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和3年4月28日 14時30分 8日多法人議 町産 15分 1・5・1・8 研究・教育 機構
- (2) 郵便による入札書の提出場所 令和3年4月28日 12時00分

7. その他

- (1) 契約手続きにおいて 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行なった入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全庁統一資格の資格審査結果通知書写し。
- (7) 詳細は入札説明書による。

8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約の内容及び当該契約の締結に係る情報について、当該契約の締結後、当該契約の履行状況等に関する情報を公表するものとする。
 - ① 職員の職務等に関する事項
 - ② 職員の職務等に関する事項
- (2) 上記の①②③④に該当する契約の締結後、当該契約の履行状況等に関する情報を公表するものとする。
 - ① 職員の職務等に関する事項
 - ② 職員の職務等に関する事項
 - ③ 職員の職務等に関する事項
 - ④ 職員の職務等に関する事項
- (3) 当該契約の締結後、当該契約の履行状況等に関する情報を公表するものとする。
- (4) 公表の期日は締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）とする。
- (5) その他必要な事項については、関係機関等に照会し、必要に応じて公表するものとする。

9. 公的研究費の不正防止にかかわる「誓約書」の提出について

「誓約書」の提出については、関係機関等に照会し、必要に応じて公表するものとする。また、当該契約の締結後、当該契約の履行状況等に関する情報を公表するものとする。

（実施要領） 関係機関等に照会し、必要に応じて公表するものとする。また、当該契約の締結後、当該契約の履行状況等に関する情報を公表するものとする。

（注） 関係機関等に照会し、必要に応じて公表するものとする。また、当該契約の締結後、当該契約の履行状況等に関する情報を公表するものとする。

業務仕様書

1. 件名 幼仔稚魚の選別・計数・計測業務

2. 業務目的

主要浮魚類の発生・成育海域である東シナ海及びその隣接海域における幼仔稚魚の分布生態を把握することで、日本周辺に於ける重要浮魚類の発生・生残状況を明らかにして、資源評価の精度向上に資することを目的とする。

3. 標本

ボンゴネットの傾斜曳き及びニューストーンネットの表層水平曳きにより採集した魚類プランクトンの固定標本で、以下の各機関が採集したもの。

採集機関名	採集月	標本数
水産資源研究所採集 ボンゴネット		
ホルマリン固定、エタノール保存	2021年2-3月	86本
ホルマリン固定、エタノール保存	2021年4月	79本
ホルマリン固定、エタノール保存	2021年8-9月	24本
水産資源研究所採集 ニューストーンネット		
ホルマリン固定、エタノール保存(0.3mm目合)	2021年2-3月	41本
ホルマリン固定、エタノール保存(1mm目合)	2021年4月	79本
ホルマリン固定、エタノール保存(1mm目合)	2021年5-6月	35本
各県採集 ニューストーンネット (1mm目合:ホルマリン固定、ホルマリン保存)		
鹿児島県水産技術開発センター	2021年4月、5月、2022年3月	54本
長崎県総合水産試験場	2021年4月～2022年3月	77本
各県採集 ニューストーンネット (1mm目合:ホルマリン固定、エタノール保存)		
島根県水産技術センター	2021年3月、5月、6月	34本
鳥取県水産試験場	2021年3月、4月、5月	24本

合計標本数 533本

4. 納入場所 長崎県長崎市多以良町1551-8
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所(以下「当所」という。)
(詳細は「6. 業務内容」参照)

5. 履行期限 2022年3月23日
各標本の終了期日は別紙1完了期日を厳守のこと。

6. 業務内容

① ボンゴネット

卵・仔稚魚(頭足類を含む)の選別

- 1) 選別は、原則として魚類の卵、頭足類を含む幼仔稚魚の全数を選別する。
- 2) カタクチイワシの仔魚が多数含まれている場合は本種のみを無作為に分割・選別してもよい。

仔稚魚の同定・計数

- 3) 仔稚魚は、マアジ、マアジ類似種(ムロアジ属、メアジ)、ブリ、カンパチ、ヒラマサ、サバ属、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、サンマ、葉形仔魚、スルメイカ幼生、その他の仔稚魚、その他の頭足類を査定する。計数は前期仔魚、後期仔魚～、破損個体ごとに行う。ただし、スルメイカ幼生とその他の仔稚魚・頭足類は発育段階を問わない。
- 4) 分析作業の詳細については、必要に応じてその都度担当職員と協議を行うこと。

仔稚魚の体長組成

- 5) 選別したマイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、サバ類、ブリ、カンパチ、タチウオの各仔稚魚及びスルメイカ幼生について体長(スルメイカは外套長)を測定する(有効桁 0.1mm)。ただし、体長の計測は最大で任意で選んだ 100 尾とする。また、体長は標準体長(脊索末端が上屈後の個体)か脊索長(同部が上屈前の個体)とし、前期仔魚(卵黄を有する個体)の体長計測は行わず、その個体数のみ計数する。ただし、マアジの前期仔魚は体長測定を行い、階級ごとの採集数を計数する。

作業終了後の卵・仔稚魚標本等の処理

- 6) 同定・計数対象種は、それぞれサンプル瓶に 90%エタノールで収容する(その他の仔稚魚、その他の頭足類もそれぞれ別の瓶に入れること)。サンプル瓶には、採集年月日・定点番号・区分・ネットの種類を記したラベルを入れ、瓶の蓋には、定点番号などを記入する。
- 7) 卵・仔稚魚選別済みのプランクトン標本に関して、**ホルマリン固定・エタノール保存標本は元の標本瓶に戻し**、エタノール固定・エタノール保存標本は 90%エタノールで標準サンプル瓶にそれぞれ収容する。指定のラベルと共に標準サンプル瓶(UM サンプル瓶 100ml)に入れること。(※標準サンプル瓶の取扱いについては、別紙2参照のこと。)1本の瓶に収容出来ない場合は複数本に分けて収容すること。標準サンプル瓶の蓋にはラベル 3 種を並べて貼付すること。貼付するラベルは上からタフスポット(三商 商品コード 96-4024)、タフタッグ(三商 商品コード 96-0849)、タフタッグ(三商 商品コード 96-0847)の順で、真ん中のラベルに採集年月日、採集機関、船名(航海番号)、定点番号名、ネットの種類(LNP)、目合(335 μ m)、採集層(0-150m 等)、曳網方法(鉛直、斜行)、分割率(1/1, 1/2 等)を記載すること。標本瓶は標準のコンテナ(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-14 黄色)に 40 本収納すること。また標本瓶蓋の一番上のラベルに 1~40 までの通し番号を記入すること。ただし複数本に分けたサンプルについては全て同じ番号を記入すること。一つのコンテナに採集月の異なる標本などが混在しても構わない。コンテナの面積の小さい2側面にはラミクロステープを貼付した上で通し番号を記載すること。標本及びコンテナに記載した通し番号をワークシートに入力すること。コンテナには新聞紙等の緩衝材をいれ、さらに三段重ねにした上で最上部のコンテナに蓋(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-1 用・黄色)をし、PPバンド(プラスチックバンド)等で結束した上で当所へ送付すること。元々標本が入っていた瓶は洗浄し、当所へ返送する。

② ニューストーンネット

仔稚魚(頭足類を含む)の選別

- 1) 選別は、原則として頭足類を含む幼仔稚魚の全数を選別する。
- 2) カタクチイワシ仔魚が多数含まれている場合、本種のみを無作為に分割・選別してもよい。
- 3) 分割割合は、500 尾程度の仔魚を選別するように設定する。

仔稚魚の同定・計数

- 4) 同定・計数対象種は、マアジ、マアジ類似種(ムロアジ属、メアジ)、ブリ、カンパチ、サバ属、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、サンマ、タチウオ、キビナゴ、ボラ属、葉形仔魚、スルメイカ幼生、その他の仔稚魚、その他の頭足類とする。計数は前期仔魚、後期仔魚、破損個体ごとに行う。ただし、スルメイカ幼生とその他の仔稚魚・頭足類は発育段階を問わない。

幼仔稚魚の体長計測

- 5) 選別したマイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、サバ類、ブリ、カンパチ、タチウオ、キビナゴの各仔稚魚及びスルメイカ幼生について体長(スルメイカは外套長)を測定する(有効桁 0.1mm)。ただし、体長の計測は最大で任意で選んだ 100 尾とする。また、体長は標準体長(脊索末端が上屈後の個体)か脊索長(同部が上屈前の個体)とし、前期仔魚(卵黄を有する個体)の体長計測は行わず、その個体数のみ計数する。

作業終了後の仔稚魚標本等の処理

- 6) 同定・計数対象種は、それぞれサンプル瓶に 90%エタノールで収容する(その他の仔稚魚、その他の頭足類もそれぞれ別の瓶に入れること)。なお送付時に使用した標本瓶は水洗の上、採集元の機関に返却すること。**選別後の残滓標本については可能な限り小さな標本瓶(50ml あるいは 100ml の標準サンプル瓶)に 90%エタノールで収容して返却すること。**サンプル瓶に

は、採集年月日・定点番号・区分・ネットの種類を記したラベルを入れ、瓶の蓋には、定点番号などを記入する。

7. 成果品

別紙3の同定・計数結果表と別紙4の体長計測結果表(いずれもエクセル形式)を作成の上、標本の採集各機関と当所担当職員に電子媒体(DVD等)で1部提出すること。電子媒体での納品の際は、納品前にウイルスチェックを実施すること。また、結果表には選別者及び査定者の氏名を明記すること。なお、本仕様書で分析を依頼する標本については、標本到着後速やかに分析を開始して可能な限り早く結果を報告すること。

8. 標本の返却

仔稚魚標本を採集機関へ返却する。ただし、鹿児島県水産技術開発センターの仔稚魚は当所へ返却し、送付時に使用した標本瓶は鹿児島県水産技術開発センターに返却する。

9. 注意事項

当所担当職員は、成果品について選別漏れ、査定精度、計数・計測結果の3項目のチェックを行う。チェック結果によっては該当の全サンプルの再検を求めることがある。なお、請負業者は当該作業の予定従事者のリスト(選別者と査定者の氏名・経験年数・雇用形態等)を提出すること。また、記載事項に変更が生じた場合、改訂版を提示すること。

10. その他

- 1) 詳細については担当職員の指示に従うこと。
- 2) 本業務で知り得た全ての情報について、取扱責任者を置き、社内で適切に管理を行うこと。
- 3) 本業務で知り得た全ての情報について、第三者への開示及び漏洩することがないように取扱いに注意すること。

完了期日

網種類	機関名	調査実施月	標本数	標本送付時期	最終完了時期	備考
ボンゴネット ホルマリン固定、エタノール保存	水産資源研究所	2021年2-3月 86点、 2021年4月 79点	165	2021年5月上旬	2022年3月23日	
ボンゴネット ホルマリン固定、エタノール保存	水産資源研究所	2021年8-9月	24	2021年9月中旬	2022年3月23日	
ニューストーンネット(0.3mm目合) ホルマリン固定、エタノール保存	水産資源研究所	2021年2-3月	41	2021年5月上旬	2022年3月23日	
ニューストーンネット(1mm目合) ホルマリン固定、エタノール保存	水産資源研究所	2021年4月	79	2021年5月上旬	2021年10月30日	マアジ、サバ類、イワシ類、ブリの計数値については7月5日までに報告
ニューストーンネット(1mm目合) ホルマリン固定、エタノール保存	水産資源研究所	2021年5-6月	35	2021年6月中旬	2021年9月30日	
ニューストーンネット(1mm目合) ホルマリン固定	鹿児島県水産技術開発センター	2021年4月、5月、 2022年3月 各月18点	54	各月標本採取後	標本到着後2週間	3月分については3月23日までに報告
ニューストーンネット(1mm目合) ホルマリン固定	長崎県総合水産試験場	2021年4月-2022年3月 (測点数は月により変動)	77	各月標本採取後	標本到着後2週間	3月分については3月23日までに報告
ニューストーンネット(1mm目合) ホルマリン固定、エタノール保存	島根県水産技術センター	2021年3月、5月、6月 (測点数は月により変動)	34	各月標本採取後	2021年11月26日	マアジ、サバ類、イワシ類の計数値については10月初旬までに報告
ニューストーンネット(1mm目合) ホルマリン固定、エタノール保存	鳥取県水産試験場	2021年3月、4月、5月 各月8点	24	各月標本採取後	2021年11月26日	マアジ、サバ類、イワシ類の計数値については10月初旬までに報告

卵・仔稚魚選別済みプランクトン標本の保管方法

- ◎ プランクトン標本は標本ラベルと共にサンプル瓶(UM サンプル瓶)に入れる。
 - ・LNP 標本は 50ml 瓶、ボンゴ標本は 100ml 瓶を基本とする。
 - ・1本の瓶に収容出来ない場合は複数本に分けて収容する。
 - ・サンプル瓶の蓋にはラベル 3 種を並べて貼付する(※)。
- ◎ サンプル瓶はコンテナ(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-14 黄色)に収納。
 - ・収納本数:LNP 標本は 58 本/箱、ボンゴ標本は 40 本/箱
 - ・同一コンテナに県や採集月の異なる標本が混在しても構わない。
- ◎ コンテナの面積の小さい2側面にラミクロステープ(同等品可)を貼付し、通し番号を記載

※サンプル瓶の蓋に貼付するラベル

① 上:コンテナ内の通し番号【1~58(40)】

複数本に分けたサンプルには全て同じ番号を記入

② 中:サンプルの採集記録等

採集年月日、採集機関、船名(航海番号)、定点番号名、ネットの種類(LNP、BONGO)、目合(100 or 335 μ m)、採集層(0-150m 等)、曳網方法(鉛直、斜行)、曳網水深、サンプルの分割率(1/1、1/2、1/4 等)、複数本に分けた場合のサンプル瓶数(1/3 本、2/3 本、3/3 本等)を記載

③ 下:コンテナ番号(後日、西水研で記入。納品時は空欄にしておくこと)

記載例(1 本の場合)




記載例(2 本以上の場合)



例： サンプル瓶に入れる標本ラベル(耐水紙)

表 ↓

Cruise			Ship		ST 1
YK1802			YOKO-Maru		
Year	Month	Date	LMT		
2018	5	9	09:58		
Gear	Mesh		Layer	Splitter	Vertical Oblique Horizontal
LNP	100		196m	1/1	

Latitude		Longitude	
26°00.038'		126°00.036'	
Flowmeter Rev.	Flowmeter N.	Remarks	
		3本量 30.68m ³	
			

裏 ↑

サイズ： 縦 3cm × 幅 8cm 程度

幼仔稚魚の選別・計数・計測業務 体長計測結果表
 ・入力表は魚種毎に別シートにすること

ネット種類: _____

対象魚種: _____

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
定点番号																
出現数																
測定数																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																
41																
42																
43																
44																
45																
46																
47																
48																
49																
50																
51																
52																
53																
54																
55																
56																
.																
.																
.																
.																
.																
.																
.																
100																

単位(0.1mm)